

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-G03
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアディベロップメントⅡ		演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	中嶋 久美子
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	社会人としての心得、スキルを学ぶ。				
思考力・判断力・表現力	ビジネス社会で働くために必要な社会人基礎力理解し、ビジネス マナーのスキルを学ぶ。				
学びに向かう力	自身の進路に向けてより明確に動き出せるように意識を高めていく。				
授業の概要					
前年度の学習を踏まえ、さらに理解を深める。ロールプレイングや課題、グループワークを取り入れ、実践的なビジネスマナーを学習し、社会人生活に自信を持って臨めるよう身につけていく。					
成績評価基準					
期末試験の得点、課題の取組みや評価点、授業への取組みや学習意欲を総合評価したうえで決定する。				筆記試験	40%
				課題	20%
				日常評価	40%
使用テキスト・教材					
社会人としての心得 (経営書院) よくわかる<改定3版>自身がつくビジネスマナー (FOM 出版)					
授業内容・授業計画					
		時間数			
1. ガイダンス	2	4. 言葉づかい			
2. ビジネスの基本		・接遇用語、クッション言葉	2		
・企業が求める人材	2	・シーンに応じた敬語	4		
・身だしなみ、あいさつ	2	5. 訪問時、来客時、出張時	4		
・就業中のルール	2	6・電話応対			
3. コミュニケーション		・電話のかけ方、受け方、トラブル	4		
・報告・連絡・相談、会議	2	7. ビジネスメール	2		
・トラブル対応	2	8. ビジネス文書	2		
その他		関連科目			
実務経験のある教員が担当する科目である					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-G05
授業科目名		授業形態		学科・コース	
シュウショクカツドウゼミニ 就職活動ゼミII		演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	石野 真明 吉田 文昭
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につけた上で、より実践的な手法や内定後の流れについても理解し実施に繋げる。				
思考力・判断力・表現力	実践的な理解力・判断力・表現力を習得したい。				
学びに向かう力	即実践に繋げるため真摯に取り組み確実に身につけてほしい。				
授業の概要					
自己表現をすることと、希望の会社・団体について学ぶことをバランスよく行う。					
成績評価基準					
出欠席や積極性などで評価する。				出欠席	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
Career Guidebook 2027 (沼津情報・ビジネス専門学校オリジナル)					
授業内容・授業計画					
		時間数			
科内交流会		2	書類送付、メールの送信		2
小論文とは (小論文の書き方)		2	実践的プレゼンテーション		2
文章の読み書きの規則		2	SPI 練習		6
小論文演習		4			
ハローワーク登録		2			
就職に関するグループワーク		2			
電話対応演習		2			
自己分析		2			
マナーと企業研究		2			
その他	関連科目				
	就職活動ゼミ I キャリアディベロップメントII				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-G08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キョウウゼミ サン		演習	対面	コンピュータ科	
教養ゼミⅢ					
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	各担当
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	各科の専門だけでなく幅広い教養を身に付け、学習の視野を広げる。				
思考力・判断力・表現力	講座ごとに異なる。				
学びに向かう力	積極的に他科の学生ともコミュニケーションを図る。				
授業の概要					
選択科目は各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために、普段の学科の学習では学習できない教養を複数の講座を開講する。履修は学生の希望アンケート調査により決定する。学生から選択し、身に付けることを目的に開講する。					
成績評価基準					
各講座により、試験、実技、提出物などで評価を行う。				講座ごとに設定	
使用テキスト・教材					
各講座による。					
授業内容・授業計画					
<開講科目> ・DTP ・お菓子作り ・パーソナルカラー ・一般常識 ・英会話 ・イラスト入門 ・ゼミナール (中国語) ・インタビュー ・心理学 ・ワープロ実務 (準1級)		時間数 各 15	・ワープロ実務 (1級以上) ・POP デザイン ・ゼミナール (ピアノ入門) ・ゼミナール (体育Ⅰ) ・ゼミナール (体育Ⅱ) ・ゼミナール (運転と安全Ⅰ) ・ゼミナール (演劇) ・ゼミナール (インテリア植物の育て方)	時間数	
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-G09
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キョウウゼミ ヨン ----- 教養ゼミIV		演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	石野 真明 吉田 文昭
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	システム開発事例の教材を使い、要件定義、外部設計、内部設計を中心にシステム開発の上流工程を演習形式で学習する。				
思考力・判断力・表現力	学んで習得してきた知識・技術を総合的に活用する力を身につける。				
学びに向かう力	座学で学んできた知識や技術を融合させ活用することの難しさを経験し、卒業研究に繋げてほしい。				
授業の概要					
オブジェクト指向プログラム言語での開発に用いられている“UML”を使い、要件定義～基本設計までの流れを演習にて確認する。					
成績評価基準					
授業内で作成した成果物を主体に、授業態度・その他提出物などを加味して評価する。				レポート	20%
				課題	60%
				日常評価	20%
使用テキスト・教材					
オリジナルテキスト「システム開発演習」					
授業内容・授業計画					
		時間数			
システム開発の概要		2			
基本設計		8			
外部設計		8			
内部設計		6			
プログラム設計		6			
その他	関連科目				
	システム開発総合演習				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-G11
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーションカブドウ ニ コミュニケーション活動II		講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	90	3	石野 真明 吉田 文昭
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	学校行事など、通常科目の学習を越えた様々な学習活動を行う。				
思考力・判断力・表現力	協調・協力・社会性等を育みたい。				
学びに向かう力	郊外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果を期待する。				
授業の概要					
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンス					
成績評価基準					
出欠席状況で評価する。				出欠席	100%
使用テキスト・教材					
資料配布あり。					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
始業式、卒業式		8			
ハイキング		16			
卒業研究発表会		12			
就職ガイダンス		14			
研修・卒業研究準備		40			
その他		関連科目			
		システム開発総合演習			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SR03
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プレゼンテーションギホウ ----- プレゼンテーション技法		講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	中村 知枝美
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	プレゼンテーションを理解し、報告・提案・説得など社会人として適切なプレゼンテーションができるようになる。				
思考力・判断力・表現力	プレゼンに効果的なスライドを作成する力と、それに合ったシナリオの作成能力を身につける。				
学びに向かう力	積極的・意欲的にプレゼンに参加する姿勢をみせる。				
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚化・図解化のツールとしてパワーポイントを使用する。</li> <li>・プレゼンの構成を学ぶ。</li> <li>・話し方や動作などを学ぶ。</li> </ul>					
成績評価基準					
プレゼンテーション (発表・スライド)				プレゼン	100%
使用テキスト・教材					
プリント配布、パワーポイントスライド資料					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. プレゼンテーションの心得		2	7. 個人プレゼン発表・評価・反省		4
2. PowerPointの基本操作		2			
3. プレゼンテーションのテクニック		4			
4. グループ別プレゼンテーション		8			
・情報収集   ・資料収集					
・視覚資料作成   ・リハーサル					
5. グループプレゼン発表・評価・反省		4			
6. 個人プレゼンテーション		6			
・情報収集   ・資料収集					
・視覚資料作成   ・リハーサル					
その他	関連科目				
	就活ゼミⅡ、教養ゼミⅣ				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SR11
授業科目名		授業形態		学科・コース	
データベースセックイエンシュウ データベース設計演習		講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	清 慶治
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	リレーショナルデータベースである Access の基本的な使い方を学習する。				
思考力・判断力・表現力	テーブル設計やデータ登録、加工等を習得することは今後の活動にメリットが大きい。				
学びに向かう力	しっかり基本を習得して以降の各分野での活動の基盤の一部としたい。				
授業の概要					
アクセスによるテーブル定義の方法、クエリを用いた情報の抽出方法、フォームの使用方法、レポートの作成方法、マクロの使い方など学習する。					
成績評価基準					
単元ごとに課題提出があり、その提出状況により評価する。				課題	100%
使用テキスト・教材					
できる Access2024 (インプレス)					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
テーブルの作成			2		
クエリの作成			4		
フォームの作成			4		
レポートの作成			4		
リレーショナルデータベースの作成			4		
複雑な条件のクエリ			4		
自由なレイアウトのレポート			4		
マクロの利用			4		
その他	関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SR22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラムゲンゴニ プログラム言語II		講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	90	3	石野 真明 内田 正章
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	1年次でC言語を学習しており、共通する部分は確認にとどめ、Java言語特有の扱いを中心に授業を行う。				
思考力・判断力・表現力	オブジェクト指向設計を実現できるプログラム言語であり、クラスの扱いなど理解してもらいたい。				
学びに向かう力	サンプルプログラムを自身で入力し動きを確認したのち、演習プログラムを作成してもらいたい。				
授業の概要					
この授業は2年次に行うので、C言語と共通な部分は確認する程度で行い、Java言語独特の部分を中心に学習する。					
成績評価基準					
元ごとに確認用の演習を行う。この演習課題はすべて提出する。また学期末にペーパー試験を行う。ペーパー試験の結果と演習課題の内容により評価する。				筆記試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
すっきりわかる Java 入門 (インプレス)					
授業内容・授業計画					
		時間数			
Eclipse のインストール	4	カプセル化			8
キー入力、乱数の発生	6	継承			10
繰り返し構文、制御構文、	6	抽象クラス			10
配列、拡張 for 文	4	インタフェース			6
メソッドの利用	10	多態性			4
複数クラスを用いた開発	4	例外処理			8
インスタンスとクラス	10				
その他		関連科目			
※実務経験がある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SR19
授業科目名		授業形態		学科・コース	
システムカイハツソウゴウエンシュウ システム開発総合演習		演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	吉田 文昭 石野 真明
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	基本設計ができていない題材を使い、概要設計、詳細設計、実装する工程までグループで行う。				
思考力・判断力・表現力	システム開発のかなりの工程を体験すること、またグループで作業を行うことでのコミュニケーションの大切さを学ぶ。				
学びに向かう力	グループで行うので、メンバーの一員として責任をもって取り組んでもらいたい。				
授業の概要					
基本設計ができていないテーマを使い、概要設計、詳細設計を経て、プログラミングまで行う。設計手順はウォーターフォールモデルに従うが、設計はオブジェクト指向設計に従う。					
成績評価基準					
授業内で作成した成果物を主体に、授業態度・その他提出物などを加味して評価する。				レポート	20%
				課題	60%
				日常評価	20%
使用テキスト・教材					
オリジナルテキスト「システム開発演習」					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
要求定義		4			
シナリオ定義		4			
基本設計		4			
外部設計		12			
内部設計		12			
プログラム設計		8			
プログラミング		16			
その他	関連科目				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SR21
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ネットワークセックイエンシュウ ネットワーク設計演習		講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	吉田 文昭
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	PHPの基本構文、DBを使ったWebサイトの構築、フォーム入力データのファイル保存、DBの構築・連携とSQL文を用いたデータ操作を習得する。				
思考力・判断力・表現力	これまで蓄えてきた知識・技術を結集して動的Webサイトの構想を計画的に実現する総合力を身につける。				
学びに向かう力	卒業研究を念頭に作品づくりへの意欲と実行力が求められる。				
授業の概要					
HTMLに動的な処理を加えるうえで、PHPは必須の言語である。前半の基本構文を確実に理解しておかないと、課題制作が難しくなるため、確実に理解することが求められる。PHPを習得することで、Webアプリケーション開発を行うための知識・技術を学ぶ。					
成績評価基準					
例示課題及び制作課題の提出、出欠席状況で評価する。				出欠席	20%
				例示課題	20%
				制作課題	60%
使用テキスト・教材					
確かな力が身につくPHP「超」入門 第2版 (SBクリエイティブ) 担当教員が準備した資料					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
PHPの環境構築	2	COOKIEを使った処理	2		
文字列の表示	1	ファイルのアップロード	2		
変数	1	アンケートフォーム	8		
文字列結合	1	制作課題：アンケートフォーム	10		
条件分岐	2	データベースの構築	4		
繰り返し	2	SQL文	4		
配列	2	SQLを用いたメモ機能制作	10		
ユーザ定義関数	1	例示課題のチェック及び提出	4		
POSTを使った処理	2				
SESSIONを使った処理	2				
その他	関連科目				
※実務経験がある教員が担当する科目である。	卒業研究				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SR24
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ジョウホウトクベツコウギニ 情報特別講義II		演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	120	4	吉田文昭 石野真明 岡部泰幸 鈴木孝昌 中村知枝美
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	応用情報技術者試験、基本情報技術者試験合格を目指す科目である。これまでに学習したいろいろな科目の集大成になる。				
思考力・判断力・表現力	資格試験に備え、覚えるべき項目は覚え、思考力が問われる項目は思考力をアップさせてもらいたい。				
学びに向かう力	過去の合格実績からみると、積極的に取り組むことで合格につながるの、そのような気持ちで取り組んでもらいたい。				
授業の概要					
出題分野毎に過去問を中心とした対策授業を行う。途中、模擬試験を複数回実施して、各自の定着度を確認する。					
成績評価基準					
出欠席及び模擬試験結果、検定試験結果で評価する。				試験結果	50%
				日常評価	50%
使用テキスト・教材					
基本情報技術者 科目A 問題集・基本情報技術者 科目B 問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者午前問題集・応用情報技術者午後問題集 (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
※基本情報技術者試験の場合					
疑似言語とアルゴリズム			20		
情報セキュリティ			20		
ハードウェア・ソフトウェア			20		
データベース・ネットワーク			20		
ストラテジ			12		
マネジメント			20		
模擬試験			8		
その他			関連科目		
			情報特別講義 I		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SR25
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ジョウホウトクベツコウギ サン 情報特別講義Ⅲ		演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	120	4	吉田文昭 石野真明 岡部泰幸 鈴木孝昌 小針恒雄 内田正章 中村知枝美
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	応用情報技術者試験、基本情報技術者試験合格を目指す科目である。これまでに学習したいろいろな科目の集大成になる。				
思考力・判断力・表現力	資格試験に備え、覚えるべき項目は覚え、思考力が問われる項目は思考力をアップさせてもらいたい。				
学びに向かう力	過去の合格実績からみると、積極的に取り組むことで合格につながるの、そのような気持ちで取り組んでもらいたい。				
授業の概要					
出題分野毎に過去問を中心とした対策授業を行う。途中、模擬試験を複数回実施して、各自の定着度を確認する。					
成績評価基準					
出欠席及び模擬試験結果、検定試験結果で評価する。				試験結果	50%
				日常評価	50%
使用テキスト・教材					
基本情報技術者 科目 A 問題集・基本情報技術者 科目 B 問題集 (インフォテック・サーブ) 応用情報技術者午前問題集・応用情報技術者午後問題集 (インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
※基本情報技術者試験の場合					
疑似言語とアルゴリズム			20		
情報セキュリティ			20		
ハードウェア・ソフトウェア			20		
データベース・ネットワーク			20		
ストラテジ			12		
マネジメント			20		
模擬試験			8		
その他			関連科目		
			情報特別講義Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SS01
授業科目名		授業形態		学科・コース	
セイギョプログラム 制御プログラム		講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	和田 弘
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	マイコン利用による制御プログラムの作成方法を学ぶ。				
思考力・判断力・表現力	自分で開発企画を行い、結果を発表する。				
学びに向かう力	ホームページに授業の進め方が示してあり、それを中心に行う。				
授業の概要					
電子回路の基礎知識を学び、ハード回路の接続もできるようにする。 そのハードウェアを制御するプログラムを構築する。 プログラムの大きさにかかわらず、自分の考えを構築できることがポイントになる。					
成績評価基準					
原則、授業態度、課題提出、演習結果提出、等を総合評価した上で決定する。				課題	100%
使用テキスト・教材					
エントリーキット PC (各自持参要) にて下記HP を中心に授業を進め、課題提出等にも使用する。					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
授業内容・目標確認・教材確認	2	距離の測定		2	
電子工作／部品／回路の基礎	4	サーボモーター制御		2	
環境設定して使ってみる	4	液晶ディスプレイ制御		2	
Arduino だけで使ってみる	4	I2C デバイス		2	
回路設計して回路を作る	6	電子サイコロを作る		4	
LED 制御	6	ラーメンターマーを作る		4	
色の制御	2	時計を作る		4	
音を制御	2	メロディ演奏		6	
明るさの制御	2				
温度測定	2				
その他	関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SS02
授業科目名		授業形態		学科・コース	
オフィスアプリケーション Officeアプリケーション		講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	清 慶治
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	課題作成をとおして、業務で使えるベルの Access のアプリケーションを作成する。				
思考力・判断力・表現力	Access 単体でここまでできるということを体感してもらいたい。				
学びに向かう力	作り方はテキストに書いてあるので、自分でコツコツ作成してもらいたい。				
授業の概要					
テキストに基づいて演習を行う。 最後に課題制作を行う。					
成績評価基準					
授業中に作成したデータベースと課題により評価する。				レポート	80%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
Access によるシステム構築問題集 (ムゲンダイ出版)					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
データベースについて、Access の使い方	2	請求書の作成	2		
データベース、テーブルの作成方法	2	月ごとに売り上げをまとめる	2		
顧客テーブルの作成	2	Excel、Word との連携	2		
顧客情報フォームの作成	2	メニューの作成	2		
顧客フォームを使って情報登録	2	課題作成1 住所管理システム開発	8		
商品テーブルの作成	2	課題作成2 メディア管理システム開発	8		
商品情報のフォームの作成	2	課題作成3 売上管理システム開発	8		
注文テーブルの作成	2	課題作成4 成績管理システム開発	10		
リレーションシップ	2				
その他	関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SS03
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ウェブアプリケーション ----- Webアプリケーション		講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択	60	2	中村 知枝美
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	HTML、CSS を使用してデザイン性のある Web ページや、JavaScript、jQuery を使用した動的な Web ページやアプリの制作技術を身に付ける。				
思考力・判断力・表現力	技術者側の視点だけでなく、利用者側の視点に立った操作のしやすさや閲覧のしやすさを意識して制作する力を育む。				
学びに向かう力	課題制作を通じて、計画的に作業を進める能力や、試行錯誤を繰り返して質の高い作品を仕上げる姿勢などを求める。				
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> <li>HTML に JavaScript を追加することによって、閲覧する側の使いやすさや見やすさを考慮する。</li> <li>JavaScript は他のプログラミング言語の考え方の礎となる。</li> </ul>					
成績評価基準					
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題提出により評価を決定する。</li> </ul>				課題	100%
使用テキスト・教材					
JavaScript ではじめるプログラミング超入門 (技術評論社)					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
1. HTML と CSS の復習		6	10. String オブジェクト、ダイアログ	2	
2. JavaScript の概要		2	11. 復習小課題	4	
3. 繰り返し処理		6	12. jQuery	8	
4. if else 文による条件判定		4	13. 課題 (Web ページ又はアプリ制作)	10	
5. 多重ループ		2			
6. 配列、関数		2			
7. イベント処理		6			
8. 一定時間ごとの処理		2			
9. Math、Date オブジェクト		6			
その他			関連科目		
			HTML		

シラバス (授業概要)	時間数は45分換算	年度	2026年度
		科目コード	C-SS04

授業科目名		授業形態		学科・コース	
ヒョウケイサンアプリケーション 表計算アプリケーション		講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	吉田 文昭

### 授業の目的・目標 (科目のねらい)

知識・技能	本来は手作業で行うべき Excel の操作を自動で実行してくれる機能であるマクロを、Excel VBA というプログラミング言語で記述することを学習する。
思考力・判断力・表現力	「マクロの記録」のようにサポートしてくれる機能が豊富なので比較的容易にプログラムが進められる。アイデア次第で活用範囲を広げてほしい。
学びに向かう力	どこで何の仕事をするにしても必要不可欠な EXCEL において煩雑な操作を自動化できる知識はメリットが大きい。ぜひ意欲的に習得を。

### 授業の概要

授業では毎回、Excel VBA の基本知識を学ぶと共に、様々な課題に取り組むことで実践的なプログラミング技術を習得する。

### 成績評価基準

提出課題により評価する。	課題 100%
--------------	---------

### 使用テキスト・教材

Excel VBA 本格入門 (技術評論社)

### 授業内容・授業計画

	時間数		時間数
基本操作とデモプログラム紹介	6	課題作成 (条件分岐)	4
基本構文を理解	2	繰り返し処理	2
ブックとシートを操作	2	課題作成 (繰り返し処理)	4
セルを VBA で操作	2	対話型のマクロ	2
ユーザーフォーム	2	課題作成 (対話型のマクロ)	4
ユーザーフォーム	2	ユーザー定義関数	2
課題作成 (マクロの記録)	4	文字列を操作	2
変数	2	日付や時刻を操作	2
課題作成 (変数)	4	グラフを操作	2
条件分岐	2	課題作成 (創作)	6

### その他

### 関連科目

表計算基礎、表計算応用

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SS05
授業科目名		授業形態		学科・コース	
スマホアプリケーション		講義・演習	対面	コンピュータ科	
スマホアプリケーション					
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	横田 一輝
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	Android用アプリの作成方法を基本的な内容からデータベースを使うレベルまで学習する。				
思考力・判断力・表現力	いろいろな要素がかかわってAndroidアプリが作成されており、その関係性を確認してもらいたい。				
学びに向かう力	アプリを動かすまでにかかなりの労力が必要であるが、それを実体験してもらいたい。				
授業の概要					
はじめに個人のパソコンにAndroid Studioをインストールし、各種環境設定を行う。その後、画像の表示方法、音声の再生方法、画面遷移の方法やファイル、データベースの使い方など各種アプリを作成しながら学習する。					
成績評価基準					
提出課題により評価する。				課題	100%
使用テキスト・教材					
いきなりプログラミング Android 開発 (翔泳社)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
Android Studio のインストール		4			
フラワーシミュレーターの作成		8			
写真集の作成		8			
音データの再生		8			
クイズアプリの作成		8			
図鑑アプリの作成		12			
データベースを使う		12			
その他	関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SS06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャドオペレーション ----- CADオペレーション		講義・演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択	60	2	佐野 佳久
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	AutoCADの基本的操作を中心に学習する。コマンドや三面図、ブロック、レイアウト等について学習する。				
思考力・判断力・表現力	自分でCAD図面を作成する能力を身に付けてもらいたい。				
学びに向かう力	基本的に個人で行う内容だが、いくつか課題を出すので、それを作成することが中心となる。				
授業の概要					
機械CADの基本的な使い方を学習する。					
成績評価基準					
図形の大きさに合わせた用紙サイズ・尺度選択し、三面図を描く。				課題	100%
使用テキスト・教材					
オリジナル教本					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
機械製図の概要	2	縮尺・倍尺ブロック	2		
Auto CAD の概要	4	レイアウト	4		
CAD の基本操作	6		6		
CAD の基本操作	8				
テンプレート	2				
修正コマンド	8				
一面図	6				
二面図	6				
三面図他	6				
その他	関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SS07
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ソツギョウケンキュウ 卒業研究		演習	対面	コンピュータ科	
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択	120	8	鈴木 孝昌 和田 弘 石野 真明 吉田 文昭
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	学生自身でテーマを決め実施するので、自分たちで課題を発見し解決してもらいたい。				
思考力・判断力・表現力	これまでの学習は決められたテーマに沿って学習してきたが、自分で問題を解決することを経験してもらいたい。				
学びに向かう力	グループで実施することが多いので、コミュニケーションをとりながら卒業研究を進めてもらいたい。				
授業の概要					
テーマは、主に基本システム開発・応用システム開発・シミュレーションなどで、システムを作成し、それを卒業論文にまとめ発表する。					
成績評価基準					
作成したシステム、卒業論文、発表により評価する。				システム	60%
				論文	20%
				プレゼン	20%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
基本設計、概要設計、詳細設計		時間数			時間数
システム作成、論文作成		40			
		80			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2026年度
				科目コード	C-SS08
授業科目名		授業形態		学科・コース	
インターンシップ		実習	企業	コンピュータ科	
インターンシップ					
履修学年	履修時期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択	120	8	石野 真明 吉田 文昭
授業の目的・目標 (科目のねらい)					
知識・技能	入社後、自分が行う仕事内容についてあらかじめ理解する。また内定先企業の業務内容について理解する。				
思考力・判断力・表現力	入社後の対応力を身に付けてもらいたい。				
学びに向かう力	企業内の課題に取り組むことで自分が習得すべき内容を確認する。				
授業の概要					
企業のインターンシップである。					
成績評価基準					
出欠席と企業側の評価による。				レポート	20%
				課題	20%
				日常評価	60%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
インターンシップ		時間数	120		時間数
その他		関連科目			